

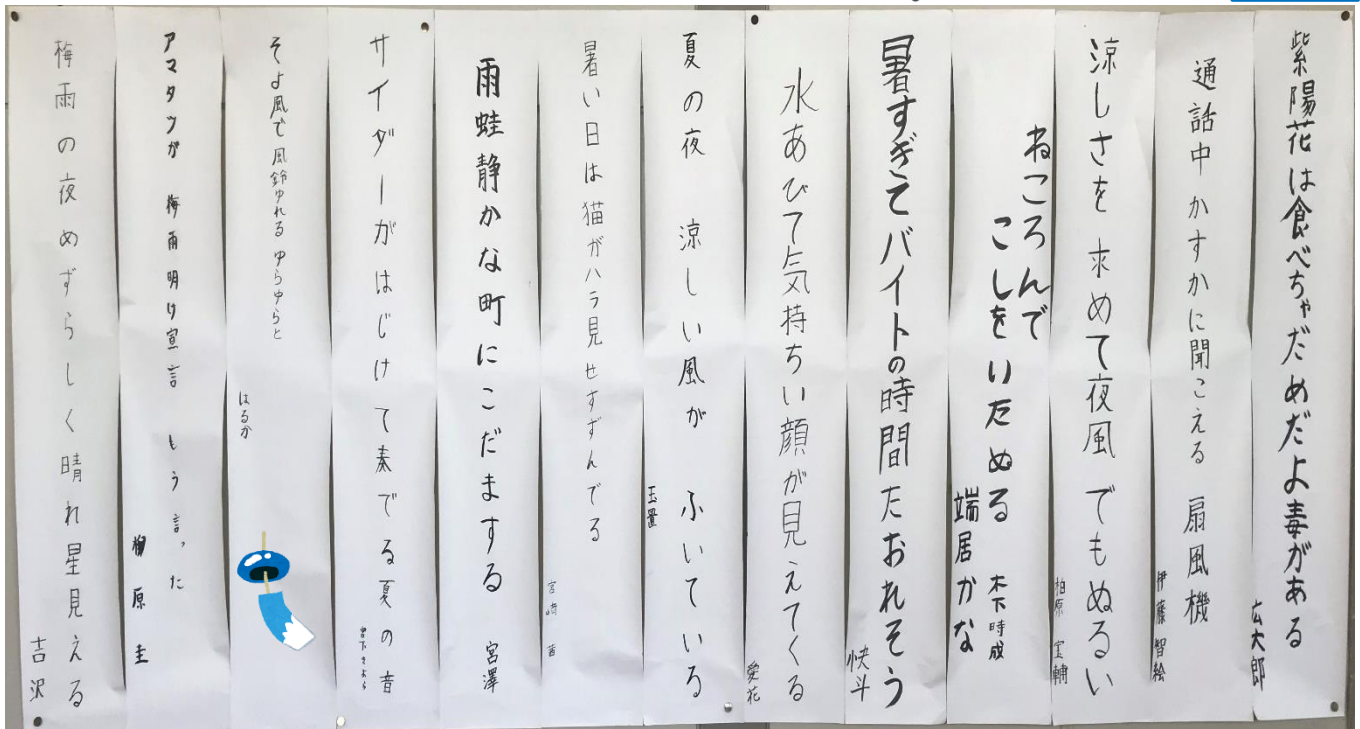
令和4年度 赤穂高校定時制だより

第5号
令和4年11月8日

国語の授業において、生徒たちが俳句づくりをしました。
どの句にも何気ない日常生活の中で感じられた情景が表現されています。



1年生

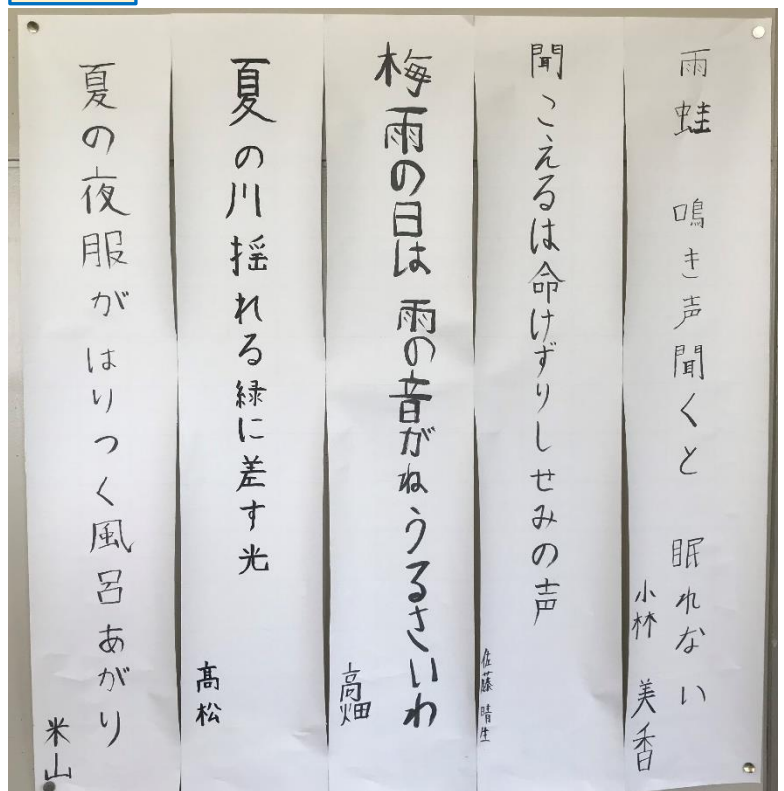


2年生

毎年7月の恒例になっている国語の授業での俳句づくりです。

国語科の中村先生が各 HR 教室の廊下に展示しました。

今年度もコロナ禍で授業参観等がなかなか実現できない状態が続いていますが、コロナ感染状況の様子を見ながら授業参観できる可能性を探っています。計画が予定されましたら早めに連絡をしますので、是非、生徒たちの授業の様子を参観しに来てください。





車窓から夕立運ぶ青と白
大島悠輔

紫系陽花の水滴映す虹の色
萌

冷えたもの夏の夜でも去っていく
杏和

早き夏皆次々に袖刈られ
恵太

鶺鴒色を美麗に魅せる八仙花
根路純

思い出す海月の悪夢 青い海
宮下悠良

雨上がり空に大きな虹の橋
鈴

汗流し 負けじと摘果 散り行く菜
恵夏



雨が止み日の出る方に虹が咲く
奥川翔生

雨がやみ心が晴れて虹かかる
毛星

暑すぎる日照り強すぎ倒れるわ
芦部 樹

カラス鳴き急ぎ帰る夕焼け空
竜介

夕涼みエアコンつかう快適だ
来夢

雨蛙 みんなあつまり大合唱
直泰

雨蛙葉っぱの下で一休み
春日

あつい日の日照り照りやきいい天気
塩島光将

風鈴が 突風吹いて 割れてまう
翔達